

編集後記

今年の応募件数は、論文は昨年並みであったが作品が半減したことが目立った。しかし教員各位の制作活動が停滞したというわけではなく、期限までにまとめきれなかった方があったということのようである。査読・評価はできるだけ外部の方々をお願いしようということで、他大学や企業の各専門領域の一流の方々を選んでお願いした。

編集集中に浮上した問題として、投稿された論文の受付時に、その論文の専門領域のことを考慮すべきかどうかということがあったが、結論としては芸術学部の教員でさえあれば内容の専門領域にあまりこだわらず、筆者の希望を入れて受け付けることとした。また作品について、投稿規定にある「創作」の定義をもっと具体的に示す必要があることが分かったので、来年度の規定に入れることにしたい。

今年も山崎先生に表紙デザインをお願いした。前号からの繁がりのある力作を頂き、厚く感謝申し上げたい。学内外の査読・評価を担当して頂いた方々、投稿された諸先生、その他ご協力下さった方々に御礼申し上げ、来年度も多くの投稿を頂けるよう、特に新しい方からの投稿を含め、委員一同期待している。

平成9年3月

紀要編集委員会 委員長 森 典彦

東京工芸大学芸術学部紀要 Vol. 3

1997年3月31日 発行

編集 東京工芸大学芸術学部
紀要編集委員会

発行 東京工芸大学芸術学部
〒164 東京都中野区本町2-9-5
Tel. (03) 3372-1321
Fax. (03) 3372-1330

印刷 有限会社 啓文堂 松本印刷
東京都新宿区早稲田鶴巻町565-12